

定局の新設または増設を進め常時監視体制の強化を図るとともに、必要に応じて工場、事業場の立地指導、環境影響評価の実施、公害防止協定、覚書の締結などにより発生源対策を進めるものとする。

二酸化硫黄に係る環境管理は、その発生源が工場、事業場によるものであることから、工場、事業場が新設または増設される場合には、必要に応じてメッシュごとに大気拡散シミュレーションを行い、適切な指導を行うものとする。

二酸化窒素に係る環境管理は、その主たる発生源は工場、事業場並びに自動車によるものであることから、工場、事業場については二酸化硫黄における環境管理と同様の管理を行うこととするが、現に環境保全水準を超えている地域においては、燃焼方法の改善について指導し、排出量の削減を図るものとする。

また、自動車によるものについては、昭和53年に排出ガス規制が強化されたことにより相当の効果が期待されるが、一方において、自動車台数の伸びが見込まれるので、自動車構造の改善、走行状態の改善、交通量の抑制などを促進する。

第1節 序

本県における公共用水域は阿武隈山地から東流する江合川、迫川などがあり、カモなどの飛来がみられる。海域は、全国でも女川などの良港を形成し、石油精製、火力発電と松林が続くなだらかな

これら公共用水域の水質を自動測定局による監視測定、同法による特別排水規制などにより対処すると

を図ってきた。

しかしながら、一部の河川を除き水質汚濁の進行などにより、工場、事業場からの河川などへ流入が重要となる。このため、本計画で計画的に水質の環境管理